

# 1月17日の全市一斉総合防災訓練では 7割の自治会にご参加いただきました!

災害からあなたと家族を守る

## 命の パスポート

シリーズ 176

1月17日(土)、箕面市では14回目の全市一斉総合防災訓練を実施しました。今回の訓練は土曜日ということもあり、255の自治会(全体の約7割)が参加し、前回にも増して多くのかたに安否確認などの訓練をしていただくことができました。

これは、これまでの防災訓練への参加や、地域での防災活動に取り組んでいただいたこと、さらに、平成30年の大阪北部地震や、令和6年1月1日に発生した能登半島地震などを受けて、みなさんが高い防災意識を持ってくださった結果です。ご協力ありがとうございました。

### 各小学校区の避難所では 地区防災委員会がさまざまな訓練を実施しました!



高性能救助車ウニモグ

#### 西小校区では…

#### 西小校区では…



避難所開設訓練、安否確認訓練、消防との水消火器による消火訓練、自衛隊との合同炊き出し訓練などを行いました。消火訓練を体験した児童は「難しかったけれど、できるようになってうれしかった」と話していました。また、自衛隊との合同訓練ではカレーの炊き出しが行われ、行列ができるほど大人気でした。

自衛隊との炊き出し訓練の様子

#### 萱野小校区では…

避難所開設訓練、安否確認訓練、箕面警察との合同訓練(大阪府警察本部による高性能救助車ウニモグの展示、警察犬による救助訓練)、児童引き渡し訓練、防災倉庫の見学など、さまざまな取り組みを行いました。また、備蓄の大切さを知ってもらうため、参加者に備蓄食をプレゼントしました。

### 地区防災委員会とは

災害時に、地域の中心となって防災活動や避難所の運営を行う組織です。市内14の小校区ごとに設けられ、地区福祉会、青少年を守る会、自治会などのほか、各校区の住民によって運営されています。委員会は、いくつかの班に分かれて作業を分担します。

地区防災委員会  
災害時の  
役割

- 避難所を開設し、運営します
- 自治会などから避難所へ届く安否情報を集約し、被害の状況を把握します
- 市災害対策本部と連絡を取り合い、被害などの情報を共有します
- 支援が必要な地域に行き、支援活動を行います
- 一人暮らしの高齢者、体が不自由なかたなどの安否を確認します など



### 防災訓練への参加が災害時の被害を最小限に抑えます!

地震などの自然災害は、いつ起こるか分かりません! 日頃から高い防災意識を持ち、一人ひとりが災害発生時の対応策を身に付けておくことが大切です。今後さらに一人でも多くのかたが防災訓練に参加し、安否確認の訓練などを行うことが、災害時の被害を最小限に抑えることにつながります。

来年1月17日の全市一斉総合防災訓練は **日曜日** です! **家族全員**で必ずご参加ください!